

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会 news ♪

2015年9月16日発行 No.62

8月24日薬害根絶デーの様子をお知らせします♪



暫いの碑の前行動の様子
薬被連より薬害根絶への要請書が厚労大臣
(代理)に手渡されました。



午前中は民医連の集い
100超参加！
WHO とワクチンメーカー
の利益相反ありなのねえ



集会にも多くの方が。
ラストの「行動提起」の鬼いを繋げ
たいと..感じ入りました☆



サリドマイド被害者の話
自分だけの被害でないこと、今でも
被害は続いていることが淡々と
語られました。



厚労省前～♪



銀座マリオン前～♪



厚労省の皆さん
見えてますか～♪



～くすりいろいろ話～

長期投与可能となった糖尿病治療薬 SGLT-2 阻害剤。副作用リスクの高い夏を過ぎ、馬肥ゆる秋。処方も多くなるのではないのでしょうか？
もう一度、市販直後調査結果とレコメンを熟読しようか。秋だから。

第16回薬害根絶デー レポート(東医研報告書・根絶の会会議より)
終日曇りで割りと涼しい根絶デーでした。

16回となった今もHPVワクチン被害など薬の被害が続いています。

10代の少女たちの被害状況は、同じころの自分と置き換えて想像すると、悔しくてやり切れないと感じ、身震いを禁じえません。

サリドマイドも難病の癌の治療薬として復活していますが、あの被害を1つとして出さないための監視システムを大幅に緩めようとしています。この情報を知っている医療人はどれだけいるのでしょうか。

スモンも難病指定の枠に病気として取り込まれそうになりました。スモンは薬によってもたらされた不治の健康被害なのだ、という意識が役人の中で薄れてきている証拠です。被害は続いているのだという認識が大事だと痛感しました。

過去の薬害が終わっているのではなく、その教訓を生かし続ける努力が薬害根絶の重要点だとあらためて感じました。